

全国の高校生における「医薬品について」のアンケート調査結果

日本学術振興会科学研究費補助金 事業
主任研究者：岐阜薬科大学実践薬学大講座病院薬学研究室教授 寺町ひとみ

平成 20 年 3 月に改訂された学習指導要領では、医薬品に関する内容が中学校保健体育科保健分野に盛り込まれました。平成 24 年度から開始された中学校保健体育科の「医薬品の授業」の実施状況を把握することを目的として、日本全国の中学校を対象にしたアンケート調査を実施しました。さらに、「医薬品の授業」を受講した岐阜県の高校 1 年生を対象に「医薬品の正しい使い方」に関する知識・意識の現状も明らかにしました。今回、対象者を全国規模に拡大し、全国の高校 1 年生の生徒を対象にして、医薬品に関する知識・意識調査を行いました。ご協力いただきましたことをお礼申し上げます。以下にアンケート調査結果についてご報告いたします。

1. 回収数および有効回答率

	学校			生徒				
	配布校	回収校	回収率 (校)	配布人数	回収人数	回収率 (人)	有効回答 人数	有効回答 率
全国	83	81	97.6	17,895	17,812	99.5	17,437	98.5

全国の高校のうち同意が得られた 81 校 1 年生の生徒を対象にした。

2. 生徒における学校種別集計結果

(1)体調不良時の対処(複数回答)

(%)	早めに寝る	家で薬を飲む	家族に相談する	学校の先生に相談する	病院に行く	薬局で相談する	その他
全体:17,437人	73.1	57.8	48.3	3.9	37.4	1.0	3.7
男:8,205人	73.9	53.6	39.3	3.6	36.9	1.3	4.4
女:9,232人	72.3	61.6	56.3	4.1	37.8	0.7	3.0
χ ² 検定	p<0.05	p<0.01	p<0.01	NS	NS	p<0.01	p<0.01

早めに寝るが 73.1%と一番高く、特に女子よりも男子の回答率が高かった。また、薬局で相談するも男子の方が回答率は高かった。しかし、家で薬を飲む、家族に相談するは男子より女子の回答率が高かった。

(2)医薬品の使用目的(複数回答)

(%)	腹痛	頭痛	下痢	かぜ	発熱	歯痛	アレルギー	酔い止め	その他
全体:17,437人	39.4	46.2	14.4	64.4	61.4	4.4	32.8	30.0	5.2
男:8,205人	30.3	42.2	16.5	63.0	59.3	3.3	30.5	21.8	4.8
女:9,232人	47.5	49.7	12.5	65.7	63.3	5.4	34.8	37.2	5.6
χ ² 検定	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.05

使用目的はかぜや発熱が多かった。全体的に男子より女子の回答率が高かったが、下痢は女子より男子の回答率が高かった。

(3)医薬品の使用時における相談相手(複数回答)

(%)	両親・ 祖父母	兄弟・ 姉妹	友達	医師・ 歯科医師	薬剤師	学校の 先生	①	②	その他
全体:17,437人	86.6	2.5	2.3	20.4	6.2	1.2	12.6	15.7	0.5
男:8,205人	52.6	1.9	1.6	21.6	6.5	1.2	12.0	15.4	0.6
女:9,232人	90.2	3.1	2.8	19.3	5.9	1.2	13.2	15.8	0.5
χ^2 検定	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	NS	NS	p<0.05	NS	NS

①治療や予防のためにいつも飲んだり、使ったりしなければならない薬があるので、自分の判断で使う

②治療や予防のためにいつも飲んだり、使ったりしなければならない薬があるわけではないが、自分の判断で使う

相談相手では両親・祖父母が高く、特に男子より女子の回答率が高かった。

(4)自己判断による購入経験

(%)	ある	ない
全体:17,437人	12.4	87.5
男:8,205人	11.9	88.1
女:9,232人	13.0	87.0
χ^2 検定	p<0.05	

(5)友人からの譲り受け経験

(%)	ある	ない
全体:17,437人	14.5	85.5
男:8,205人	6.5	93.5
女:9,232人	21.6	78.3
χ^2 検定	p<0.01	

(6)友人への譲渡経験

(%)	ある	ない
全体:17,437人	14.9	85.1
男:8,205人	6.8	93.1
女:9,232人	22.0	78.0
χ^2 検定	p<0.01	

自己判断による購入経験、友人からの譲り受け経験、友人への譲渡経験では、すべて男子より女子の回答率が高かった。

(7)医薬品の使用時に気をつけている注意点(複数回答)

(%)	薬の注意書きを見る	いくつ飲むか確認する	いつ飲むか確認する	食事をしたか確認する	水で飲むようにする	体質を確認する	自分ではあまり気をつけない	その他	無回答
全体:17,437人	52.7	82.3	72.2	33.0	58.0	9.8	4.2	0.9	0.4
男:8,205人	52.7	78.1	69.9	30.7	57.8	9.4	5.4	1.0	0.5
女:9,232人	52.7	86.0	74.3	35.1	58.1	10.1	3.2	0.8	0.2
χ^2 検定	NS	p<0.01	p<0.01	p<0.01	NS	NS	p<0.01	NS	

医薬品の使用時に気を付けている注意点として、いくつ飲むか、いつ飲むか確認するの回答率が高かった。いくつ飲むか、いつ飲むか、食事をしたか確認するでは男子よりも女子の回答率が高く、自分ではあまり気をつけないでは男子の回答率が高かった。

(8)医薬品の使用時に気をつけることが大切だと思う注意点(複数回答)

(%)	薬の注意書きを見る	いくつ飲むか確認する	いつ飲むか確認する	食事をしたか確認する	水で飲むようにする	体質を確認する	無回答
全体:17,437人	80.1	78.8	70.4	36.5	50.2	41.1	0.8
男:8,205人	78.1	76.8	69.3	35.8	49.9	37.7	1.0
女:9,232人	81.8	80.6	71.3	37.1	50.6	44.1	0.7
χ^2 検定	p<0.01	p<0.01	p<0.01	NS	NS	p<0.01	

医薬品の使用時に気をつけることが大切だと思う注意点として、薬の注意書きを見る、いくつ飲むか確認するおよびいつ飲むか確認するの回答率が高かった。特に、この3つの項目では男子よりも女子の回答率が高かった。

(9)医薬品に関する用語の認識度(複数回答)

(%)	一般用医薬品	医療用医薬品	ジェネリック医薬品	かかりつけ薬局	お薬手帳	ドーピング	学校薬剤師	無回答
全体:17,437人	51.9	60.6	63.9	70.3	85.8	79.1	26.8	1.5
男:8,205人	53.5	57.6	61.5	64.4	79.3	86.8	25.6	2.0
女:9,232人	50.4	63.2	66.0	75.7	91.6	82.2	27.8	1.1
χ^2 検定	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	

お薬手帳の認識度が高く、特に女子の方が男子より高かった。ドーピングの認識度では男子が高かった。学校薬剤師は認識度が低かった。

(10)医薬品に関する知識の理解度(複数回答)

(%)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	無回答
全体:17,437人	83.4	73.5	46.2	53.5	63.6	81.1	75.7	31.0	1.6
男:8,205人	80.7	73.9	46.4	51.1	64.4	77.2	72.5	34.0	2.4
女:9,232人	85.7	73.1	46.1	55.7	62.8	84.6	78.5	28.2	1.0
χ^2 検定	p<0.01	NS	NS	p<0.01	p<0.05	p<0.01	p<0.01	p<0.01	

- ①薬を牛乳やジュースで飲んではいけない場合がある
 ②錠剤をガリガリかんで細かくして飲んだり、カプセル剤の中身を出して飲んだりすることは、よくない場合がある
 ③薬の飲み方の(食間)とは、食後2時間程度たってから飲む薬のことで、食事中に飲む薬ではない
 ④かぜで病院へ行き、5日分の薬をもらって、3日で熱も下がり学校に行けるようになっても、残った2日分をすべて、飲まなくてはいけない場合がある
 ⑤ほとんどの薬には、副作用があるといわれている
 ⑥正しい量の薬を飲んで、すぐに効かない場合でもそれ以上の量の薬を余分に飲んではいけない
 ⑦定期的にのむ薬を一度飲み忘れたら、次に飲むとき、2回分をまとめて飲んではいけない
 ⑧市販の風邪薬には、症状を和らげる成分は入っているが、病原体を殺す成分は入っていない

薬を牛乳やジュースで飲んではいけない場合があることの理解度が一番高かった。市販の風邪薬には、症状を和らげる成分は入っているが、病原体を殺す成分は入っていないことの理解度が一番低かった。

(11)学校での医薬品に関する授業経験

(%)口	ある	ない	わからない	無回答
全体:17,437人	29.5	24.9	45.2	0.3
男:8,205人	30.8	25.6	43.2	0.4
女:9,232人	28.4	24.4	47.0	0.2
χ^2 検定	p<0.01			

医薬品に関する授業経験があると回答した割合は、男子の方が女子より多かった。また、半数ほどの生徒がわからないと回答した。

(12)学校での医薬品に関する授業科目((11)で「ある」と回答した生徒)

(%)	中学校の保健体育	高等学校の保健体育	総合学習または学級活動	講演会	その他	おぼえていない	無回答
全体:5,130人	84.3	6.7	8.5	28.2	1.4	5.2	0.7
男:2,519人	83.7	7.8	9.1	29.5	1.5	4.9	0.9
女:2,611人	84.9	5.7	8.0	26.9	1.3	5.6	0.5
χ^2 検定	NS	p<0.01	NS	p<0.05	NS	NS	

生徒の多くは中学校の保健体育と回答した。

3. 生徒における「医薬品に関する授業」の有無と薬に関する用語および知識の関係
((11)で「ある」または「ない」と回答した生徒)

(1) 医薬品の購入・譲り受け・譲渡経験

(%)	「ある」「ない」		(%)	「ある」「ない」		(%)	「ある」「ない」	
全体	ある:5,127人	13.8 86.2	全体	ある:5,126人	13.8 86.2	全体	ある:5,127人	14.3 85.7
	ない:4,325人	12.1 87.9		ない:4,327人	14.0 86.0		ない:4,326人	14.7 85.3
χ^2 検定	p<0.05		χ^2 検定	NS		χ^2 検定	NS	
男子	ある:2,519人	13.8 86.2	男子	ある:2,519人	6.6 93.4	男子	ある:2,519人	7.6 92.4
	ない:2,089人	11.5 88.4		ない:2,089人	6.4 93.5		ない:2,089人	6.5 93.4
χ^2 検定	NS		χ^2 検定	NS		χ^2 検定	NS	
女子	ある:2,612人	13.7 86.3	女子	ある:2,612人	20.8 79.2	女子	ある:2,612人	20.8 79.2
	ない:2,240人	12.6 87.4		ない:2,240人	21.1 78.9		ない:2,240人	22.3 77.7
χ^2 検定	NS		χ^2 検定	NS		χ^2 検定	NS	

(2) 医薬品の使用時に気を付けている注意点(複数回答可)

(%)	薬の注意書きを見る	いくつ飲むか確認する	いつ飲むか確認する	食事をしたか確認する	水で飲むようにする	体質を確認する	自分ではあまり気を付けない	その他
全体	ある:5,131人	58.5	84.9	76.2	36.0	62.9	11.7	2.8
	ない:4,329人	51.3	80.8	70.4	32.1	55.4	9.7	4.6
χ^2 検定	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	NS
男子	ある:2,519人	58.2	82.1	74.5	34.1	64.2	10.9	3.7
	ない:2,089人	52.5	76.5	66.7	29.2	54.7	9.1	5.6
χ^2 検定	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.05	p<0.01	NS
女子	ある:2,612人	58.9	87.5	77.8	37.8	61.6	12.4	2.0
	ない:2,240人	50.3	84.8	73.8	34.8	56.0	10.3	3.8
χ^2 検定	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.05	p<0.01	p<0.05	p<0.01	NS

(3) 医薬品の使用時に気を付けることが大切だと思う注意点(複数回答可)

(%)	薬の注意書きを見る	いくつ飲むか確認する	いつ飲むか確認する	食事をしたか確認する	水で飲むようにする	体質を確認する
全体	ある:5,131人	83.3	82.7	74.8	39.4	56.8
	ない:4,329人	78.4	76.0	66.4	35.2	46.7
χ^2 検定	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01
男子	ある:2,519人	82.0	81.5	73.9	40.1	56.0
	ない:2,089人	76.3	73.2	64.9	33.6	46.6
χ^2 検定	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01
女子	ある:2,612人	84.6	83.9	75.6	38.9	57.7
	ない:2,240人	80.4	78.6	67.8	36.8	46.8
χ^2 検定	p<0.01	p<0.01	p<0.01	NS	p<0.01	p<0.01

(4)医薬品に関する用語の認知度(複数回答可)

(%)	一般用 医薬品	医療用 医薬品	ジェネリック 医薬品	かかりつけ 薬局	お薬手帳	ドーピング	学校薬剤師
全体							
ある:5,131人	59.8	67.8	65.3	76.7	87.8	82.6	35.8
ない:4,329人	48.8	58.5	66.5	68.5	85.6	79.3	21.8
χ^2 検定	p<0.01	p<0.01	NS	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01
男子							
ある:2,519人	61.3	65.1	63.5	70.7	82.7	88.6	34.1
ない:2,089人	51.3	57.2	64.4	63.6	79.0	87.3	22.0
χ^2 検定	p<0.01	p<0.01	NS	p<0.01	p<0.01	NS	p<0.01
女子							
ある:2,612人	58.4	70.3	67.1	82.5	92.8	76.7	37.3
ない:2,240人	46.5	59.8	68.4	73.1	91.7	74.8	21.6
χ^2 検定	p<0.01	p<0.01	NS	p<0.01	NS	p<0.01	p<0.01

(%)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
全体								
ある:5,131人	88.3	79.4	54.5	59.2	70.9	85.9	81.9	35.5
ない:4,329人	81.1	70.7	43.3	52.1	60.4	77.5	73.0	30.9
χ^2 検定	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01
男子								
ある:2,519人	86.4	80.2	52.7	58.0	72.6	83.4	79.8	37.8
ない:2,089人	77.9	71.0	44.7	49.4	60.7	73.1	69.3	34.3
χ^2 検定	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.05
女子								
ある:2,612人	90.1	78.6	56.2	60.4	69.4	88.4	83.8	33.3
ない:2,240人	84.1	70.5	42.0	54.6	60.2	81.5	76.4	27.8
χ^2 検定	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01	p<0.01

(5)医薬品に関する知識の理解度(複数回答可)

①～⑧は(10)と同じ

「医薬品に関する授業」を受けたことが「ある」と回答した生徒の方が「ない」と回答した生徒より、医薬品の購入経験が「ある」と回答した割合が高かった。「医薬品に関する授業」を受けたことが「ある」と回答した生徒と「ない」と回答した生徒の間で、医薬品の譲り受け・譲渡経験が「ある」と回答した割合に差はみられなかった。「医薬品に関する授業」を受けたことが「ある」と回答した生徒の方が、医薬品の使用時に気を付けている注意点や気を付けることが大切だと思う注意点の回答率が高かった。医薬品の使用時に気を付けている注意点では、いくつ飲むか確認することが一番多かった。医薬品の使用時に気を付けることが大切だと思う注意点では、薬の注意書きを見ることが一番多かった。男子・女子いずれも、「医薬品に関する授業」を受けたことが「ある」と回答した生徒の方が認知度、理解度について高かった。

4. まとめ

体調不良時の対処において、男子・女子いずれも、早めに寝ると回答した割合が高かった。また、医薬品の使用時には、男子・女子いずれも、両親・祖父母に相談することがわかった。医薬品の使用目的では、男子・女子いずれも、かぜ、発熱に対して医薬品を使用していることがわかった。自己判断による購入経験、友人からの譲り受け経験、譲渡経験は「ある」の回答があり、女子の方が男子より多かった。学校での医薬品に関する授業経験について「ある」が29.5%、「ない」が24.9%、「わからない」が45.2%であった。「ある」と回答した生徒では、医薬品の購入経験の割合が高く、医薬品の使用時に気を付けている注意点や医薬品の使用時に気を付けることが大切だと思う注意点の回答率が高かった。また、「ある」と回答した生徒では、

医薬品の用語の認知度および知識の理解度が高いことがあきらかとなった。

今後、学校での「医薬品に関する授業」が効果的に実施されるよう大学の立場から情報提供およびアプローチをしていきたい。